

年譜

- 1897年 千葉県夷隅郡東海村に安藤誠の次男として生れる。
- 1901年 父親の転勤のため茨城県水海道町(現常総市)に移転。
- 1915年 茨城県立水海道中学校卒業。
- 1918年 21歳で神奈川県横浜市にて小学校教員となり、以後横浜、東京の各小学校を歴任、1927年(S2)退職。
- 1920年 23歳で上京。葵橋研究所、研究所太平洋洋画研究所、本郷研究所、川画学校に通う。小林萬吾板倉賛治に師事し、水彩画を学ぶ。
- 1929年 32歳で第10回帝国美術展覧会。以降帝展に「友の像」初入選。以後帝展に37歳まで連続入選する。
- 1936年 臨時文部省美術展覧会文展に「裸婦」入選。
- 1937年 グループ四元荘第1回展出品、以降6回展まで出品
- 1938年 第2回文展「画室にて」特選受賞。
- 1939年 文展無鑑査。「裸婦」出品。
- 1940年 紀元2600年奉祝文展入選。国立東京ろうあ学校(現筑波大学付属ろう学校)に奉職。
- 1941年 文展無鑑査に推薦。以後隔年出品。
- 1947年 創元会会員となる。以後1962年(S37)退会まで毎年出品する。
- 1948年 第4回日本美術展覧会(以降日展とする)入選。
- 1951年 日本水彩画会会員推挙される。以降1983年(S58)まで毎年出品。
- 1957年 60歳で日展審査員となる。東京教育大学教授となる。
- 1958年 第1回日展より日展会員となる。
- 1960年 グループ十柯会第1回展出品。
- 1962年 ヨーロッパ外遊する。創元会退会。
- 1963年 東京教育大学教授定年退官。
- 1968年 第11回日展出品。日展評議員となる。
- 1969年 日展改組。第1回展出品。以降第14回展まで出品。
- 1974年 ヘレンケラー賞受賞。日展参与となる。
- 1975年 東京教育大学付属ろう学校講師となる。
- 1982年 心筋梗塞にて入院。
- 1983年 85歳で死去。第15回日展「一隅」遺作出品。



1920年 鳥



1930年 若い妻の顔



1940年 朝鮮風景



卓上静物



妻の顔と毛布



1937~38年 横臥裸婦



静物



散策



1957年 裸婦



裸婦1